事業番号 00043
------------

事務事業名			被服貸与事業		
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

	<del>中加中未以</del>	N <del>文</del>														
(1)		不明			女正 月	事務服の貸与原	廃止									
(2)	直近の改正	平成25年度		I/	P容											
(3)	根拠法令等	吹田市職員被	皮服貸与	規程												
		☑ 全部		一部(上	乗せ、	横出し等あり)	)	□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした‡	場合はそ	の説明	明										
(5)	総合計画の体系	章 8	基本	x計画推	進のた	めに				節		4		細節	0	
			•		区分	} ☑ 内部管	<b>管理</b>		建設	と事業	□ その作	也	•			
		対象 (誰を、何を)			範囲:	等業務上、作	業服(事	務服	を除く	()を必要と	する職員・菲	再任用職	員			
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	<b>か</b> )	作業朋	作業服を貸与し、安全に業務への従事ができるようにするとともに、市民等に不快感を与えないようにする。										
		結果 (どのような効果	見が得られ	<b>るのか</b> )	被服の	被服の着用は業務効率の向上と安全衛生につながる。										
(7)	事業概要 H27事業別	1	へては、貸	Г		与希望調査を	実施し、』			Dみ購入し: 	l :		l i	夏冬とも2:		
(8)	予算コード	会計	1	款	2	項	1	F	1	1	大事業	6	中事業	1	小事業	1
			項	∄			平成2 (2014						7年度 年度)		平成28 (2016 <i>5</i>	
						予算(=	千円)	ž	決算(	(千円)	予算( <del>-</del>	千円)	決算見辺	上(千円)	予算( <del>-</del>	千円)
			事業費(A)				2,591			1,911		2,064		2,235		3,381
		人件費	職貞	職員数			0.15	0.15		0.15		0.15		0.15		0.15
				(B)	千円	9	1,245			1,193		1,253		1,253		1,226
	± # # I		事業費(			3,83				3,104	+		3,488		4,60	
(9)	事業費と 財源の内訳	;	特定財源				0		0 0					0		
		<b>內</b>		国 ———— 守			0			0	0			0		
		訳		<u></u> D他			0			0		0		0		
			市負担				3,836			3,104		3,317		3,488		4,607
			地,	 方債			0			0		0		0		
		内	その	の他			0			0		0		0		- 0
		· ·	— 积	財源			3,836			3,104		3,317		3,488		4,607
		貝	才源計(C	;+D)			3,836			3,104		3,317		3,488		4,607
		☑ 直接	実施													
		□ 委託	又は一部	委託先	季託先     ①       ②     ③											
(4.5)	実施方法					主な委託内容										
(10)	(該ヨ9つもの						1									
	は全部チェック)	口 補助	〕金∙負担	金		交付先	2									
							3									
		□ その	—— 他			内容										

		指標等	指標項目			項目	平成26 <sup>2</sup> (2014年		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	1					達成度(%)		0.0				
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00 0.00				
1 ) ;		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(単位∶)		0.00	0.00			
	2					達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算				総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	1					達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た			0.00				
2 - 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
成 果 指 標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2					達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		方法				りコスト 一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
へ の3 が また	1	活動 内容	2年に1回、作業版の  る。 	)貸与希望怠问を調	査し、必要な数	<b>は量の作業服を貸与す</b>	目標	F業服を <b>が</b>	必要とする職員にの	み貸与する。		
困難な場合	2	成果 内容	作業服を貸与し、安全 快感を与えない。	全に業務への従事が	ができるようにす	るとともに、市民等に不	達成状況	F業服が』	服が必要な職員に対し貸与している。			
	•	4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□ 縮기	`		<b>廃止</b> □	終期の設定		
(4)総	合評		評価の説明	業服の貸与は安治	全衛生面にお	いて有効であるため、	今後も貸与	を継続	する必要がある。			

所属名	人事室				
事務事業番号	00043	事業名	被服貸与事業	事業区分	内部管理

評価	iの視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	i	
(4)	妥当性	1.4	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	(20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	······································	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	i	
(0)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
>	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	1 10	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u> </u>	
			内部管理		点
			  ②サービスの水準は適正ですか。		
	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0			
			内部管理		点
			内部管理		点
			<ul><li>①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。</li></ul>	<u>:</u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。	<u> </u>	
	7117/		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	 点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	:	

所属名	人事室	事務事業番号 00	043		
2 各視点	からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応	じて記載)		
3 事務事	事業の現状分析				
	の位置付け	主要な政策課題    としての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果	持約	続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 <b>有</b> 効性 効率性	
(3)現状分	·析	事務服の貸与については意義 作業服の貸与は安全衛生面に	が薄れており、 <sup>3</sup> おいて有効であ	平成25年度から貸与を停止しる らり、今後も貸与を継続していく	ている。 必要がある。
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事	耳()		

事務事業名	非常勤職員等の公務災害事業									
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄					

	于初于未U/W	N <del>文</del>																
(1)	事業開始年度	不明			改正	ナ <del>보</del> /설	豊中家の赤目	F										
(2)	直近の改正	平成18年度			内容	作用1頁	賞内容の変更	E										
(3)	根拠法令等	地方公務員第	災害補	i償法、議	会の議	員そ	の他非常勤	の職	員 <i>0</i>	)公務	災害	補償等に	関する条例	等				
		□ 全部		☑ 一部(	上乗せ	□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)												
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックし	た場合は・	その説	D説明 非常勤職員等のうち、労働者災害補償保険法の対象外となる職員を条例等で補完している。												
(5)	総合計画の体系	章 {	3 基	基本計画技	直推進のために					節 4			細節		0			
		:			X	分	☑ 内部管	<b>管理</b>			建設	事業	□ その	也			:	
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	議会の議員・非常勤職員・臨時雇用員											
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	目標 (どういう状態にしたいのか) 非常					 常勤職員等の公務中又は通勤途上の災害について、職員同様の補償を行う。(労災補償分を除く。)										
		結果 (どのような効果が得られるのか) 非常勤職員等が安心して働くことができ、業務上での効率化につながる。																
(7)	事業概要 H27事業別	地方公務員第 災害に対する 養や休業等に	補償	を行うた <i>は</i> る補償を <sup>:</sup> 	か、公 <b>務</b> 行う。 — <sub>—</sub>	務等に <u></u>	こよるものか	険法の	<b>の適</b> 断す	る「公 	務災	い議会の	景会」を設	置するとと	<もに、公務 	災害等と	認定された	こおける ときは療
(8)	予算コード	会計	1	款		2	項	1		E		1	大事業	6	中事業	2	小事業	1
						6年度 年度)					7年度 6年度)		平成28 (2016年					
							予算(千円)		j	<b>)</b> 算(	千円)	予算(	千円)	決算見込(千円)		予算(千円)		
		事		事業費(A)			626					1,325	5	626		1,213		626
		人件費	I	職員数		人	0.		0.40			0.40	)	0.40		0.40		
				総額(B) ····································		円	3,3		3,320			3,179		3,341		3,341	•	
	<del></del>			費(A+B)		3,946				·					4,554		4 3,894	
(9)	事業費と 財源の内訳		特定則	オ源(C) 					0						0			0
		内		国  府			0			0						0		0
		訳		 その他					0	0						0		0
				担(D)				3,9	946			4,504		3,967		4,554		3,894
		<u> </u>	t	 地方債					0			0		0		0		0
		内 訳 		その他					0			0		0		0		0
		$\sim$		-般財源				3,9	946			4,504		3,967		4,554		3,894
		貝	才源計	(C+D)				3,9	946			4,504	ŀ	3,967		4,554		3,894
		□直接	実施			1		1										
								-	_	公務	災害	補償等認	定委員会					
		☑ 委請	モ又は・	一部委託			委託先	<b>—</b>		公務	災害	補償等審	査会 ————					
	 実施方法					<u> </u>	· · · · · · ·		3	<i>,,,</i> <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , </del>		Z#1 /// ch	<b>○ === -+</b> - 1/4 - 7/-	- <del></del>				
(10)	(該当するもの					E	とな委託内容			災害.	メはi	<u> </u>	の認定業務	·寺				
	は全部チェック)	☐ <del>/+</del> □	<sub>ከ</sub> ቊ ₋ ዾ	台中人			六八十	_	1									
		□補助	」並 "	된 1보 並			交付先	-	<ul><li>2</li><li>3</li></ul>									
			\ /IL				rin sin		<u>৩</u>									
		<b>」</b> □ ての	〕その他				内容											

事業番号 00044

2 評	<u> ш</u>	)指標書	指標項目	1		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位∶)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
2		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
$\smile$		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位∶)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位∶)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
の3 が 困指	1	活動 内容	非常勤職員等の 行う。	公務中又は通勤途上 <i>の</i>	)災害に対して、	療養及び休業の補償を	公務災害(     目標 	の発生に応じて療養	養等の補償を行う。
[難な場合	2	成果 内容	非常勤職員等が	安心して働くことができ、	、業務上での対	率化につながる。	必要な補f 達成 状況	賞を行った。	
		4	    後の方向性	□ 拡充					 終期の設定
			(実施計画)			【			
(4)総1	合評		評価の説明						

所属名 .	人事室				
事務事業番号(	00044	事業名	非常勤職員の公務災害事業	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没 刮 万 担 の 観 点 か ら 兄	5	 点
			a. 川が関子すべて事業であり、その範囲も担い子も最過である。(3点)  ②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	<u> </u>	示
				5	   点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	3	从
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	
			4. 天心思報はする頃ともいる。(3.M.)   4. 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u> </u>	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		<i></i>
			つん	5	
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	
(2)	有効性 (20点)	20	3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点)   4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	3	
				5	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)  ①単位当たりコストは適正ですか。	5	点 
			①早121=1250=1251は週1209 か。 	3	
				3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		<b>.</b>
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 	5	<b>.</b>
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 	5	点
			4) 事 采 于 法 の 検 討 、 事 務 改 善 に 取 り 組 む な と 、 事 采 効 卒 の 向 工 に 労 め )	5	
			1サービスの対象範囲は適正ですか。		点 
			P		
			<b>とうり一に入</b> の水準は適正ですが。   <b>内部管理</b>	<u> </u>	<b>.</b>
(4)	公平性 (20点)	0			点
	(==71117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理   <b>小</b> 小亚性も変化するための取织なもしていますか		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点 
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		<u> </u>
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点) 	<u> </u>	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	能性	14	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		<u> </u>
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	_	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 	5	点 
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)  3 事務事業の現状分析  (1)本事業の位置付け  □ 主要な政策課題 としての取組 □ 部として重点的な取組 □ その他	所属名 人事室	事務事業番号 00044				
(1)本事業の位置付け  □ 主要な政策課題 としての取組 □ 部として重点的な取組 □ その他    ***   **   **   **   **   **   **	2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	(記載)			
(2)各視点からの評価結果  (2)各視点からの評価結果  (3)現状分析  平成25年度と比較すると、公務災害発生件数が増加し、また執行額も増加している。	3 事務事業の現状分析					
(2)各視点からの評価結果		主要な政策課題	□ 部。	として重点的な取組	V	その他
	(2)各視点からの評価結果	持続可能	5性	10 有効性		
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)	(3)現状分析	平成25年度と比較すると、公務災害	言発生件数が増	加し、また執行額も増加して	ている。	
	4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項	)			

事務事業名			人事システム運用事業		
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄

	1 100 1 010 00 10		<del>^</del>														
(1)	事業開始年度	平成16年度			改正	<b>ا</b> ا	··· I o = t	, r									
(2)	直近の改正	平成25年度			内容	<i>ス</i> キ	ーヤナの更新	打									
(3)	根拠法令等	地方公務員沒	去、吹l	田市職員	服務規	,程等											
		☑ 全部		□ 一部	(上乗せ	、横	出し等あり	)		な	」(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施 <sup>-</sup>	する義務あ	<b>り</b> )	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックし	た場合は	はその説	明			l								
(5)	総合計画の体系	章 8	3 1	基本計画	推進の	ため	IC				節		4		細節	O	
			<u> </u>		×	分	☑ 内部	<del></del> 管理		建	設事業	□ その <sup>•</sup>	也				
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	職員、再任	壬用職員	員、非常	勃耶	哉員、臨時雇	星用員					
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたい	いのか)													
						員の健康管理の適正な把握ができることで職員の長時間労働の防止ができ、また適正かつ効率的に人事 関ができる。											
(7)		出退勤管理をた、人事発令										特間外勤務(	の状況を配	所属長が原	随時把握で	きるように	する。ま
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	ζ :	2	項	1		目	1	大事業	15	中事業	1	小事業	1
			項						或26年。 )14年度				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28 (2016:	
							予算(	千円)		決算	(千円)	予算(	千円)	決算見:	込(千円)	予算(	千円)
		事業費(A)					6,550				6,276		5,676		6,312		5,075
		人件費 職員数			<u></u>	0.20						0.20					
		60		総額(B) 	千円		1,660			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u> </u>	
	古光弗し			費(A+E	3)		8,210				7,866		7,347			·	
(9)	事業費と 財源の内訳	;	特正則	<b>け源(C)</b> ■			0				0		0				
		()     国       ()     ()				0				0	0						
		所				0				0	0						
			市負	担(D)			8,210					7,347		_		-	
		<u> </u>	j	地方債			0			0		0					0
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	•	その他			0			0		0		0		0	
		<u> </u>		-般財源					10				7,347	7,983			8,343
		·		(C+D)	)			8,2	10		7,865		7,347		7,983		8,343
		□ □ 直接	美施			<u> </u>			1 h:	<u></u>	ニューマンシス	フテルブ姓	<u> </u>				
							委託先	<u> </u>			. <u>-</u> ・マンク/ 一ス株式会		LA II				
		☑ 委託	又は·	一部委請	ŧ		21075				<u>イナンス株</u>						
(40)	実施方法					主	とな委託内				逐•保守	-					
(10)	(該当するもの							(	1)								
	は全部チェック)	口 補助	]金•負	負担金			交付先		2								
								(	3								
		□ その	他				内容										

指標項目					項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	貴(単位:千円)		0.00	0.00	
1 		の積算 方法	-		りコスト	一般財源	原(単位:千円)	0.00		0.00	
活動指標					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値の話筒			単位当た	総事業費	뤛(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法	-		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		方法	-		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)	0.0		0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
		方法			りコスト		原(単位:千円)		0.00	0.00	/
の の が 困指	1	活動 内容							管理する		ら労働時間を適切に 、給与発令、職員台 に行う。
難な場合	標     長時間労働の防止、職員の健康管理を適正に把握ができるとともに、適							達成 状況	長時間労働防止に向けた対策や、長時間 している職員への健康確保の対策等を適 効率的に行うことができている。		
			今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続	Č	□縮小	`		廃止 □	終期の設定
(4)総·	合評	価	評価の説明	事業の開始から10: 等、必要最小限の紹 年度にかけて、給与	A費で安全か	つ効率的	に運用が図ら	られてい	ると考えて	います。平成27	

所属名	人事室				
事務事業番号	00045	事業名	人事システム運用事業	事業区分	内部管理

	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	(20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	
(2)	(20点)	18			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	 点
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		1
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	   点
(3)	20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点
			内部管理		点
			(②サービスの水準は適正ですか。		
	公平性		内部管理		
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		 点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		   点
			  ①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	 点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
	\~~m\/		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	     点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	     点
≣स /⊐	· 동농소타				
	5点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号 00045	5			
2 各視点	いらの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じ	て記載)			
3 事務 4	事業の現状分析					
	の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組	☑ 部	として重点的な取組		その他
(2)各視点	からの評価結果	持続可		妥当性       10       5       0       効率性		
(3)現状分	↑析	人事システムの運用により、所原理が可能になりました。職員の健 また、職員一人ひとりの情報管理ができています。	属長が出退勤及で 康保持等の観点 理が可能になるた	び時間外勤務の状況を随時 からもシステムは必要不可 こめ、人事発令や給与発令	・把握し、労 欠なものと 等が適切か	'働時間の適切な管 考えています。 'つ効率的に行うこと
1 204	 h/国。広の動向かじ	当該車業に関係する性部車で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	三 三 三			
4 てい <u>1</u> 1	以(国・府の割回など、	当該事業に関係する特記事項	₹ <i>)</i>			

<b>事未由</b> 7   000+7
----------------------

事務事業名			退隠料及び遺族扶助料事業		
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄

(1)	事業開始年度	昭和23年度	Ę	改正					230万円を	と超えるとき、当該 <sup>会</sup>	三額に0.9を乗じて得る	た額又は230万円		
(2)	直近の改正	平成25年度	Ę	内容	<b>ラ</b>	いずれか高い	っ額とする	改正						
(3)	根拠法令等	吹田市吏員	恩給条例	・退隠料及	び遺族	<b>族扶助料の年</b>	額の改定	に関す	る条例					
		☑ 全部		一部(上乗	せ、楫	黄出し等あり)		ロなし	<b>∠(国•</b> 府制	川度もしくは法令等で	で市が実施する義務あ	<u>り</u> )		
(4)	市単独事業区分		ニックしたち	場合はその	説明									
(5)	総合計画の体系	章	8 基本	<b>大計画推進</b>	のため	)[=			節	4	細節	0		
		:	<del>_</del>		区分	☑ 内部管	理	□ 建	<del>上</del> と事業	□ その他				
		対象 (誰を、何を)		\.	<b>範囲等</b>	退隠料及びでに勤続12					ー かに吏員であり、昭和3	37年11月30日ま		
(6)	目的	目標(どういう状態)	にしたいの	か) j	退職し7	戦した職員又はその遺族の生活のため、安定した収入を確保すること。								
		結果 (どのような効果が得られるのか) 退耶				た職員又はそ	の遺族の	)安定し	と生活を支	えることができる。				
(7)		退隠料及び	遺族扶助	料の支給事	⋾務						<u>.</u>	<u>.</u>		
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	8	大事業 1	中事業 1	小事業 1		
			項目	======================================			平成2 (2014				27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)		
				予算(千	一円)	決第	(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)				
			事業費	(A)			5,610		5,215	4,66	2,365	2,365		
		┃ 人件費 ├──		員数	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		0.05		0.05	0.0	0.05	0.05		
							0.00		0.00	0.0		0.00		
				(B)	千円		415		398	41	8 418	409		
	<b>市</b> # # 1		上 松事業費(/	A+B)	千円		415 6,025		398 5,613	5,08	8 418 3 2,783	409 2,774		
(9)	事業費と 財源の内訳		》 松事業費(/ 特定財源	A+B)	千円		415 6,025 0		398 5,613 0	5,08	8 418 3 2,783 0 0	409 2,774 0		
(9)		( 内	事業費(A 特定財源	A+B) 系(C) 国	千円		415 6,025		398 5,613 0	5,08	8 418 3 2,783 0 0 0	409 2,774 0 0		
(9)		**************************************	上 総事業費(/ 特定財源 原	A+B)	千円		415 6,025 0		398 5,613 0	5,08	8 418 3 2,783 0 0 0	409 2,774 0 0		
(9)		( 内	上 総事業費(/ 特定財源 原	A+B) 系(C) 国 存 の他	千円		415 6,025 0 0		398 5,613 0 0	5,08	8 418 3 2,783 0 0 0 0 0 0	409 2,774 0 0 0		
(9)		(内 ) (	大学事業費(A 特定財源 をの をの 市負担(	A+B) 系(C) 国 存 の他	千円		415 6,025 0 0 0		398 5,613 0 0 0	5,08	8 418 3 2,783 0 0 0 0 0 0	409 2,774 0 0 0 0 2,774		
(9)		(内訳)	大事業費(A 特定財源 特定財源 その 市負担( 地プ	A+B) 原(C) 国 府 の他 (D) 方債 の他	千円		415 6,025 0 0 0 6,025 0		398 5,613 0 0 0 5,612 0	5,08	8 418 3 2,783 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	409 2,774 0 0 0 0 2,774		
(9)		(内訳) (内訳)	*事業費(A 特定財源 *特定財源 その 市負担( 地プ その 一般	A+B) 京(C) 国 府 の他 (D) 方債 の他	千円		415 6,025 0 0 0 6,025 0 6,025		398 5,613 0 0 0 5,612 0 5,612	5,08 5,08	8     418       3     2,783       0     0       0     0       0     0       0     0       3     2,783       0     0       0     0       3     2,783       0     0       3     2,783	409 2,774 0 0 0 0 2,774 0 2,774 0 2,774		
(9)		(内訳) (内訳)	本 事業費(A 特定財源 その 市負担( セフ その 一般 財源計(C	A+B) 京(C) 国 府 の他 (D) 方債 の他	千円		415 6,025 0 0 0 6,025 0		398 5,613 0 0 0 5,612 0	5,08 5,08	8     418       3     2,783       0     0       0     0       0     0       0     0       3     2,783       0     0       0     0       3     2,783       0     0       3     2,783	409 2,774 0 0 0 0 2,774 0 0 2,774		
(9)		(内訳) (内訳)	*事業費(A 特定財源 *特定財源 その 市負担( 地プ その 一般	A+B) 京(C) 国 府 の他 (D) 方債 の他	千円		415 6,025 0 0 0 6,025 0 6,025 6,025		398 5,613 0 0 0 5,612 0 5,612	5,08 5,08	8     418       3     2,783       0     0       0     0       0     0       0     0       3     2,783       0     0       0     0       3     2,783       0     0       3     2,783	409 2,774 0 0 0 0 2,774 0 2,774 0 2,774		
(9)		(内訳) (内訳) (内訳) (内訳)	業費(A 特定財源   その   市負地プ   その   大子の   対源施	A+B) 原(C) 国 存 の他 (D) 方債 の他 対財源 (+D)	千円	委託先	415 6,025 0 0 0 6,025 0 6,025 6,025		398 5,613 0 0 0 5,612 0 5,612	5,08 5,08	8     418       3     2,783       0     0       0     0       0     0       0     0       3     2,783       0     0       0     0       3     2,783       0     0       3     2,783	409 2,774 0 0 0 0 2,774 0 2,774 0 2,774		
(9)	財源の内訳	(内訳) (内訳) (内訳) (内訳)	本 事業費(A 特定財源 その 市負担( セフ その 一般 財源計(C	A+B) 原(C) 国 存 の他 (D) 方債 の他 対財源 (+D)	千円	委託先	415 6,025 0 0 0 6,025 0 6,025 6,025		398 5,613 0 0 0 5,612 0 5,612	5,08 5,08	8     418       3     2,783       0     0       0     0       0     0       0     0       3     2,783       0     0       0     0       3     2,783       0     0       3     2,783	409 2,774 0 0 0 0 2,774 0 2,774 0 2,774		
	財源の内訳	(内訳) (内訳) (内訳) (内訳)	業費(A 特定財源   その   市負地プ   その   大子の   対源施	A+B) 原(C) 国 存 の他 (D) 方債 の他 対財源 (+D)		委託先	415 6,025 0 0 0 6,025 0 6,025 6,025		398 5,613 0 0 0 5,612 0 5,612	5,08 5,08	8     418       3     2,783       0     0       0     0       0     0       0     0       3     2,783       0     0       0     0       3     2,783       0     0       3     2,783	409 2,774 0 0 0 0 2,774 0 2,774 0 2,774		
(10)	財源の内訳実施方法(該当するもの	(内訳) (内訳) 直 委	 	A+B) I(C) 国 存 の (D) 方 他 (方 使 ) が ままます。 S(E) は (D) は (		主な委託内容	415 6,025 0 0 0 6,025 0 6,025 6,025		398 5,613 0 0 0 5,612 0 5,612	5,08 5,08	8     418       3     2,783       0     0       0     0       0     0       0     0       3     2,783       0     0       0     0       3     2,783       0     0       3     2,783	409 2,774 0 0 0 0 2,774 0 2,774 0 2,774		
	財源の内訳	(内訳) (内訳) 直 委	業費(A 特定財源   その   市負地プ   その   大子の   対源施	A+B) I(C) 国 存 の (D) 方 他 (方 使 ) が ままます。 S(E) は (D) は (			415 6,025 0 0 0 6,025 0 6,025 6,025 6,025		398 5,613 0 0 0 5,612 0 5,612	5,08 5,08	8     418       3     2,783       0     0       0     0       0     0       0     0       3     2,783       0     0       0     0       3     2,783       0     0       3     2,783	409 2,774 0 0 0 0 2,774 0 2,774 0 2,774		
	財源の内訳実施方法(該当するもの	(内訳) (内訳) 直 委	 	A+B) I(C) 国 存 の (D) 方 他 (方 使 ) が ままます。 S(E) は (D) は (		主な委託内容	415 6,025 0 0 0 6,025 0 6,025 6,025		398 5,613 0 0 0 5,612 0 5,612	5,08 5,08	8     418       3     2,783       0     0       0     0       0     0       0     0       3     2,783       0     0       0     0       3     2,783       0     0       3     2,783	409 2,774 0 0 0 0 2,774 0 2,774 0 2,774		

2 評	<u>ш 0 л</u>	指標等	指標項目	<b>■</b>		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単	位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%	)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(	単位:千円)		0.00	0.00	
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源(	単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	位:)		0.00	0.00	
	2					· 達成度(%	)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(	単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(	単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容				(単	位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%	)		0.0	0.0	
_		目標値			単位当た	総事業費(	単位:千円)	0.0		0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(	単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%	)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00	
		方法			りコスト			0.00		0.00	
の の が 困指	1	活動内容	吹田市吏員恩給 年4回恩給を支約	条例に基づき、退隠料及合すること。	及び遺族扶助米	<b>科受給対象</b> 者	背に対して、	目標			き、退隠料及び遺族 , 年4回恩給を支給す
難な場合	2	成果 内容	吹田市吏員恩給: 活を支える。	条例に基づく退隠料及で	び遺族扶助料る	族扶助料受給対象者の安定した生			吹田市吏員恩給条例に基づき、退隠料及び 扶助料受給対象者に対して、年4回恩給を支 し、対象者の安定した生活を確保。		
			う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	t	□縮小	•	□ <b>J</b>	<b>廃止</b> □	終期の設定
(4)総1	(4)総合評価		評価の説明	吹田市吏員恩給条6昭和37年11月30であるため、必要不	日までに勤続	打2年以上	で退職した	者及びそ			

所属名	人事室				
事務事業番号	00047	事業名	退隠料及び遺族扶助料事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	·i	
(4)	妥当性		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	.i	
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			<ul><li>④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。</li></ul>	.i	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	:	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	.i	
4 - 3	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18		.i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
				. <u></u>	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u> </u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	12			
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
				1	················· 点
				<u>:</u>	
					点
	公平性				点
(4)	(20点)	0		.i	
					点
				:	
					点 点
			 ①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	1
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 
				<u>:</u>	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。		
	\_ \ /!!!		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	 点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
■亚和	 「点合計			<u> </u>	
	点満点)	82	← ※自動計算します。   (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 人事室		事務事業番号	00047					
2 各視点からの評価	の点数では表れ	ない事項(必要に	こ応じて記載	<b>載</b> )				
3 事務事業の現状分	`和T ————————————————————————————————————		<u> </u>					
(1)本事業の位置付け		主要な政策課題としての取組	İ	□ 部る	として重点的な取組	V	その他	
(2)各視点からの評価結	妥当性 20 15 10 有効性 )各視点からの評価結果							
(3)現状分析	生活を対	務員については恩紹 えるため、退隠料だ と1名、遺族扶助料を	及び遺族扶助	助料を支給	3条例に基づき、退職した崩 する事務で、現在吹田市で 。	は、史員を は、史員を	の遺族の安定した 『給条例に基づき、	
4 その他(国・府の動	向など、当該事	業に関係する特詞	記事項)					

事務事業名	職場内研修事業						
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	平田美恵子		

	于加于木VM	(女															
(1)	事業開始年度	不明			改正	研修	多の名称等(	の変更	门二坐	う規定の	の整備						
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	פו ועי	多0 <b>7</b> 口 小 寸(	<b>少</b> 友义	.i~iT	<b>ノ</b> がたい							
(3)	根拠法令等	吹田市職員码	讲修規貝	IJ													
		☑ 全部		一部	(上乗せ	、横	出し等あり	)	[	」なし	. (国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 6	8 基:	本計画	推進の	ため	IC				節		3		細節	0	
			<u> </u>		区	分	☑ 内部	管理			 设事業	□ その	<del></del>	<u> </u>			
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	吹田市職員	——— 員									
(6)	目的	目標(どういう状態に	こしたいの	)か)			レ 変化に的確 の信頼を得									と説明責任を果た	
		結果 (どのような効!	単が得られ	h.ろのか	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	日市を	を将来に亘っ	って持続	続的に	こ発展で	させることの	できる人材	を育成す	る。			
(7)	事業概要 H27事業別	・職場内集合 ・OJT(日々(		通じて	:、そのf: 	士事( 	こ必要なノワ	ナハウ <sup>.</sup>	やスキ			Ī					
(8)	予算コード	会計	1	款		2	項	1		目	10	大事業	2	中事業	1	小事業 1	
			項	目					成26 <sup>年</sup> 014年				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)	
							予算(-			決算	(千円)	予算(	千円)	決算見過		予算(千円)	
			事業費						170		366		470		333	470	
		人件費		<b>員数</b>	3) 千円		0.10			0.10					0.10		
		4//		類(B) ———			830			795							
	事業費と		事業費 特定財		5)		1,300			1,161				_			
(9)	財源の内訳			」 国			-		0	0		0		_			
		内 訳		<u></u> 府					0	0							
		<u> </u>	そ	の他					0	0		0			0	0	
			市負担	(D)				1,3	300		1,161	1,306		1,169		1,287	
		<u></u> 内		方債					0		0	0 0		0		0	
		訳		の他					0		0		0		0		
			————     	<u> </u>					300		1,161 1,161				1,169		
		☑ 直接		C+D)				1,3	100		1,101		1,306		1,169	1,267	
								(	1								
			r <del></del>	如玉司	<b>-</b>		委託先	_	2								
	実施方法	□ 委託又は一部委託			5			(	3								
(10)						É	とな委託内容										
	(該当するもの は全部チェック)								1								
		□補助	か金・負担	世金			交付先	<u> </u>	2								
									3								
		□ その他					内容										

事業番号 00048

2 評1   		1指標等	· 指標項目		項目			16年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			各職場で実施している職場内研修受講者数	目標値	<u>i</u> )	単位:人)		9,500.00	9,500.00	9,500.00
		指標 内容		実績値	<u>i</u> )	単位:人)		9,261.00	7,682.00	
	1	., 1			達成度(%)			97.5	80.8	
		目標値		単位当た	総事業費	뤛(単位:千円)		0.13	0.15	
1		の積算 方法		りコスト	一般財源	京(単位:千円)		0.13	0.15	
活動指標				日標値	目標値(単位			0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(	単位:)		0.00	0.00	,
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
				目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容		実績値	(	(単位:)		0.00	0.00	
	1				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値の種質		単位当た	総事業費	業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標				目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円) 一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
		方法		りコスト			0.00		0.00	
( 3 ) が 困 指	1	活動内容					目標		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
難な場合	2	成果 内容	変化に対応しなから、吹田市を将来にわた。 よう、職員を育成する。	つく持続的	て持続的に発展させることができる			<b></b> 頼貝の人	る研修が実施できて	
		4	今後の方向性 (実施計画) □ <b>拡充</b>	☑ 継続	ŧ	□縮小	•	_ J	廃止 □	終期の設定
(4)総分	(4)総合評価		それぞれの階層に必要性を促す研修が必要で							

所属名	人事室				
事務事業番号	000048	事業名	職場内研修事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> </u>	100 1001111	и трити	1役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	     点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	— .i. la		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	     点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	     点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	<b>3</b>	     点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/iii
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	有効性 (20点)		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	   点
(2)		18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		<i></i>
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	 5	
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		点
					<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点 
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光は1コストは第五名を3 (5.5)	E	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 中が毎冊		<u> </u>
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20 M)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	++ <b>/</b> + <del></del>		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	000048	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	ιない事項(必要に	に応じて記載)	

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 図 としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 10 5 4 分平性 対率性	
(3)現状分析	に取り組んでいる。職場内研修につい	られる側面が大きいため、職場を教育・言いては、職員及び職場全体の仕事に必要 当リーダー」を設置し、組織的、意識的、計	な知識・技術等のレベルアップ

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

各職場で必要となる知識・技術等は異なるため、各職場に応じた内容の研修が必要と考えます。更に効果的な事業とするため、引き続き検証・ 改善を行う必要がある。

事務事業名			主催研修事業		
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	平田美恵子

ı	于切于木叶	N <del>女</del>															
(1)	事業開始年度	不明			改正	研修	その名称等の	の変面	に伴う	·相定 <i>の</i>	)整借						
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	פיו ועי	> V プロ 小小 寺 V	70000	1 <b>-</b> IT <i>)</i>	/ //L/C 0.	ᅚᇎᄱᅤᇰ						
(3)	根拠法令等	吹田市職員研	咞修規則														
		☑ 全部		一部(	上乗せ	、横	出し等あり)	)		」なし	(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施 <sup>-</sup>	する義務あ	(J)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたは	場合は	その説明	明			<u>,                                      </u>								
(5)	総合計画の体系	章 8	3 基本	大計画:	推進のた	こめ	-				節		3		細節	0	
		<u> </u>			区:	分	☑ 内部管	管理		建設	事業	□ その <sup>6</sup>	 也			<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	等 吹田市職員								_		
(6)	目 的					ーーー 特代の変化に的確に対応し、市民の身近なところで議論を行い、その過程についてきちんと説明責任を果た 、、市民の信頼を得ながら、市民満足度の高い市政を実現できる職員を育成する。											
		┃ お果 「どのような効果	結果 どのような効果が得られるのか) 吹田市を将来に亘って持続的に発展させることのできる人材を育成する。														
(7)	事業概要 H27事業別	能力向上研修意識改革研修					<u> </u>							1 <del> 1</del> 16		l sur	
(8)	予算コード	会計	1	款	2	2	項	1		目	10	大事業	3	中事業	1	小事業 1	_
			項				成26年 )14年 <i>[</i>					7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)			
							予算(=	千円)		決算(	千円)	予算(	千円)	決算見:	込(千円)	予算(千円)	
		事業費(/		(A)	<del></del>		4,707		07		3,847		4,752		2,822	5,28	6
		人件費		員数	(B) 千円				90	7,153		7,517			0.90	0.9	0
				(B)										7,517		7,353	
	古		事業費(		)			12,1		11,000		12,269			10,339		
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源	R(U)  国			0							<u> </u>			0
		内 		<u>当</u> 苻					0			<u> </u>			0		0
		訳     ·		<u></u>					0						0		0
			市負担	(D)				12,1	77		10,999		12,269		10,339	12,63	9
		<u></u> 内		方債					0		0		0		0		0
		訳		の他					0		0		0		0		0
		<u> </u>	— — <sub>般</sub> オ源計(C	財源				12,1			10,999		12,269		10,339		
		☑ 直接		<b>,</b> Τ <b>D</b> )				12,1	//		10,999		12,209		10,339	12,03	_
									<u>D</u>								_
		┃	£∇/+_3	如禾式			委託先	(2									
	   実施方法	┃  □ 委託	E又は一部	叩女武				3	3)								
(10)						主	な委託内容										
	(該当するものは全部チェック)	<u>++</u>		1.			<del>, ,</del> , , , , 4-										
		▮  □ 補助 ┃	金∙負担	立金			交付先										
		□ その	)他				 内容	(3	<u>リ  </u>								_
							八台										

事業番号 00049

			指標項目	<b>■</b>		項目		平成2 (2014	6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			主催研修受講者	数	目標値	<u>(</u> <u>1</u>	単位:人)		4,200.00	4,200.00	4,200.00
		指標 内容			実績値	道)	単位:人)		4,007.00	4,506.00	
	1					達成度(%)			95.4	107.3	
		目標値	主催研修受講者	数	単位当た	総事業費	党(単位:千円)		2.75	2.29	
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源	京(単位:千円)		2.75	2.29	
活動指標					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	実績値 (単位:)			0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00	
2 		方法   方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	賃(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	
(3) が困難標	1	活動内容						目標			
難な場合	2	成果内容	変化に対応しなたよう、職員を育成	がら、吹田市を将来にれまする。	たって持続的に	こ発展させ	ることができる	達成 状況		iのスキルアップに 要がある。	:繋がる研修を充実さ
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□縮小			————————————————————————————————————	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	それぞれの階層に、修が必要である。そ							

所属名	人事室				
事務事業番号	000049	事業名	主催研修事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> </u>	100 1001111	и трити	1役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	     点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	— .i. la		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	     点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	     点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	<b>3</b>	     点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/iii
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	   点
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		<i></i>
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	 5	
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		点
					<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点 
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光は1コストは第五名を3 (5.5)	E	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(== 71117		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 中が毎冊		<u> </u>
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20 M)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	++ <b>/</b> + <del></del>		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	000049	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

### 3 事務事業の現状分析

3 争扬争未必统认为例 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	☑ 主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 10 5 0 公平性	
(3)現状分析	る基本的な能力、知識等の習得に繋 向上を図るため、専門的な能力、知識	新任役付職員や管理監督者等を対象にがっている。専門研修では、全職員を対 戦等の習得に繋がっている。 ソンス意識の徹底を図るなど、職員の意識	象に、職員の職務遂行能力の

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

個々の職員の受講意欲と自発性を促し、法律や制度改正など社会環境の変化などに対応した、それぞの階層に必要とされる基本的な能力、知識等を向上を図る研修が必要と考える。

事務事業名			外部派遣研修事業					
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	平田美恵子			

	于切于木V/W	<u> </u>														
(1)		不明			改正 内容	研修	<b>多の名称等の</b> 変	変更に係	半う規定 <i>の</i>	)整備。						
(2)	直近の改正	平成26年原	5		内谷											
(3)	根拠法令等	吹田市職員	研修規則	[ ]												
		☑ 全部		]一部(	(上乗せ	せ、横出し等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法					<b>長令等で</b> で	市が実施す	る義務あ	<b>り</b> )		
(4)	市単独事業区分	一部にチ	ェックした	:場合は	その説	明										
(5)	総合計画の体系	章	8 基	本計画	推進の	ために				節		3	j	細節	0	
		:			X	分	☑ 内部管理	里	□ 建設	事業	□ その他	1	•			
>		対象 (誰を、何を	)		範围	囲等	等 吹田市職員									
(6)	目 的	目標(どういう状態	(どういう状態にしたいのか) し、i				ーーの変化に的確に対応し、市民の身近なところで議論を行し、その経過についてきちんと説明責任を果た 「民の信頼を得ながら、市民満足度の高い市政を実現できる職員を育成する。									
		結果 (どのような効果が得られるのか) 吹田市を将来にわたって持続的に発展させることのできる人材を育成する。														
(7)	事業概要	・人事室派遣研修・・・市町村職員中央研修所、全国市町村国際文化研修所、国土交通大学校、全国建設研修センター、おおさま員研修研究センター、北摂都市研修協議会、国行政機関派遣研修等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									おおさか市町	「村職				
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	,	2	項	1	目	10	大事業	4	中事業	1	小事業	1
			 項	目	·		·	平成20 (2014:				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28 <sup>2</sup> (2016年	
							予算(千円	円)	決算	(千円)	予算(刊	-円)	決算見込	(千円)	予算(千	円)
			事業費(A) 職員数			20,		20,142		15,549		19,142		16,362		19,479
		人件費 人件費				\			0.60					0.60		0.60
		7 411 30	総	総額(B) 千F		·円	4,980				<u> </u>		5,012			4,902
	<del>+</del> ** # 1	á	総事業費		)	25,122				20,318	+			21,374		24,381
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財			(				686 78	+		0			454
		<b>内</b>		国 —— 府				0						0		0
		訳	 そ	が の他				0		575				0		454
							-	25,122						21,374		23,927
		<u> </u>	市負担(D)   ○ 地方債					0		+			0		0	
		内						0		0		0		0		
		内 訳		-の他				0		0		0		U		
		内 訳 )	₹ -1	般財源				25,122		19,631		24,154		21,374		23,927
		訳	そ 一月 財源計(	般財源												23,927 24,381
		訳	₹ -1	般財源				25,122 25,122		19,631		24,154		21,374		
		訳	そ 一郎 財源計( 接実施	般財源 C+D)				25,122		19,631		24,154		21,374		
		訳	そ 一月 財源計(	般財源 C+D)				25,122 25,122		19,631		24,154		21,374		
(10)	実施方法	訳	そ 一郎 財源計( 接実施	般財源 C+D)		<u></u>		25,122 25,122 1 2		19,631		24,154		21,374		
(10)	(該当するもの	訳	そ 一郎 財源計( 接実施	般財源 C+D)		主	委託先	25,122 25,122 1 2		19,631		24,154		21,374		
(10)		訳	そ 一郎 財源計( 接実施	般財源 C+D)		主	委託先	25,122 25,122 (1) (2) (3) (1) (2)		19,631		24,154		21,374		
(10)	(該当するもの	訳	そ 一般 財源計( 接実施 託又は一	般財源 C+D)		主	を託先 を託内容	25,122 25,122 (1) (2) (3)		19,631		24,154		21,374		

事業番号 00050

2 評	<u>                                      </u>	)指標等	指標項目	■		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			外部派遣研修受	講者数	目標値	(単位:人)	600.00	600.00	600.00
		指標 内容			実績値	(単位:人)	505.00	570.00	
	1					達成度(%)	84.2	95.0	
		目標値	外部派遣研修受	講者数	単位当た	総事業費(単位:千円)	40.22	37.50	
1 0		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	40.22	37.50	
活動指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位∶)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
2 ————————————————————————————————————		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
のが困難な場合	① ②	活内の成内	変化に対応しなかよう、職員を育成		ったって持続的に	こ発展させることができる	目標 職員のス る。 達成 状況	キルアップも繋がる	研修が実施できてい
		4	 	□ 拡充	□ 継続	□	<u> </u>	<u> </u>	 終期の設定
(4)総	(4)総合評価		(実施計画)	それぞれの階層に	 必要とされる	を 基本的な能力、知識等 効果のあるものに内容	<u> </u>	 職員の受講意識と	:自発性を促す研

所属名	人事室				
事務事業番号	00050	事業名	外部派遣研修事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> </u>	100 1001111	и трити	1役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	     点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	— .i. la		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	     点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	     点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	<b>3</b>	     点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/iii
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	<del></del>		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	     点
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		<i></i>
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	 5	
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		点
					<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点 
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光は1コストは第五名を3 (5.5)	E	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(== 71117		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 中が毎冊		<u> </u>
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20 M)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	++ <b>/</b> + <del></del>		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00050						
2 各視点	2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)								

### 3 事務事業の現状分析

5 争扬争未必统仇力机 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題  ☑ としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	外部機関が実施する研修に職員を派 ている。研修で得た専門的知識等を 対応できるよにしている。	(遣し、幅広い視野、高度専門的な知識、 職務の実践に活かし、時代や市民ニーズ	技能等を集中的に習得を図っ の変化など社会情勢の変化に

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

それぞれの職階に必要とされる基本的な能力、知識等を向上させるため、職員の受講意欲と自発性を促す必要があると考えます。

事業番号   00051
--------------

事務事業名	職員自主研修事業						
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	平田美恵子		

	争務争系の機	·耒の似安																
(1)	事業開始年度	不明			改正	和修	多の名称等 <i>σ</i>	) 恋面に	半ろ担っ	<b>=</b> ጠ:	敕借							
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	וועד!	<b>୭</b> ♥ク▜᠊ヤハᢋ♥.	ノ友丈に	十一人人工人	EUZ	走"用 o							
(3)	根拠法令等	吹田市職員研	F修規	則														
		☑ 全部	[	□ 一部(	上乗せ	·、横	出し等あり)		□ <i>t</i>	にし	(国∙府制	削度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	ig)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックし#	た場合は	その説	明												
(5)	総合計画の体系	章 8	基	基本計画技	推進の7	ため	I=				節		3	养	———— 田節	0		
					区	分	☑内部管			<b>建設</b>	 事業	□ その	<del></del>			<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)				囲等	吹田市職員											
(6)	目 的					 七の変化に的確に対応し、市民の身近なところで議論を行い、その経過についてきちんと説明責任を果た 市民の信頼を得ながら、市民満足度の高い市政を実現でいる職員を育成する。												
		<b>結果</b> (どのような効果が得られるのか)				吹田市を将来にわたって持続的に発展させることのできる人材を育成する。												
(7)	事業概要	・自主研究グループへの支援																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	2	項	1	目		10	大事業	5	中事業	1	小事業	1	
		項目					平成26年度 (2014年度)						7年度 年度)		平成28: (2016年			
							予算(千		決	算( <del>-</del>	千円)	予算(	千円)	決算見込	(千円)	予算(千	-円)	
		事業費(A						500	42					8		500		
		人件費		職員数 			0.10				0.10				0.10		0.10	
		<b>%</b> \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	診額(B) ──── 費(A+B)		·円		1,330			795 837	<del> </del>			836		<u> </u>		
(0)	事業費と			▼(A〒D) す源(C)				0 1,330						844				
(9)	財源の内訳		14) // // //	国				0					0		0			
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::		府				0		0			0				0	
		□/\ <i>→</i>	7	その他				0		0			0		0		0	
			市負	担(D)				1,330		837		1,336			844		1,317	
		<b> </b>		也方債				0			0		0		0		0	
		訳		その他				0			0	+	0		0		0	
		<u> </u>		·般財源 (C   D)				1,330			837		1,336		844		1,317	
				(C+D)				1,330			837		1,336		844		1,317	
	実施方法	☑ 直接実施 □ 委託又は一部委託				<del>-</del>	委託先     ①       3											
(10)	(該ヨ9句もの)						とな委託内容	1										
	は全部チェック)	□ 補助	金•負	担金			交付先	2										
							<u>-</u> -	3										
		□ その	他				内容					_		_				

事業番号 00051

		1指標号	指標項目	1		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			自主研修受講者	数	目標値	(道	単位:人)		350.00	350.00	200.00	
		指標 内容			実績値	(首	単位:人)		32.00	33.00		
	1					達成度	(%)		9.1	9.4		
		目標値	自主研修受講者	数	単位当た	総事業費	(単位:千円)		26.16	25.58		
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		26.16	25.58		
活動指標					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値	<del></del> 直		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
2		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
成果指標					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00		
		方法			りコスト			0.00		0.00		
(3) が 困 難標	1	活動 内容	変化に対応しなれ	<b>ぶら、吹田市を将来に</b> れ	ったって持続的!!	こ発展させ	ることができる	目標	職員が自	らスキルアップにつれ	ながる研修に積極的	
な 場 合	2	成果 内容	よう、職員を育成			て持続的に発展させることができる				要がある。		
		ب	・ 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□縮小		J	<b>発止</b> □	終期の設定	
(4)総4	(4)総合評価		評価の説明	職員の自主的な学 アアップを目指そう 研修できる制度周知	とする職員に	対して、積	責極的に支援を	を行う必	要である。			

所属名	人事室				
事務事業番号	00051	事業名	職員自主研修事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
11,12	100 100 1111	и трити	1役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	—: .i.e lei		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		7111
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	
			0. 日保を下回る進歩れがである。(3点)   ④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		点
			世 川 氏 に 説 明		<b>.</b>
				3	点 
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光は1コストは第五名を3 (5.5)	E	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	16	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(==71117		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点 
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		<u> </u>
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 中が毎冊		<u></u>
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20 <del>m</del> )		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			内部管理		点 
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	++ <i>0</i> <del>+</del>		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00051							
2 各視点	2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)									

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 図 としての取組	□ 部として重点的な取組	口 その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 10 5 0 公平性	
(3)現状分析	自己啓発意欲を促進、支援し職員の えた職員の育成に繋がっていると考え	能力開発、向上を図ることにより、専門・! える。	実務能力、政策形成能力を備

### 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

職員が、自ら気づき、学習してはじめて本人の成長(自育)があると考える。個々の職員がどれだけ新しい知識や考え方を学び、自らの能力を 高めようとするのか、モチベーションをいかに引き出すかが最も重要で、そのため、職員の自主的な学習意欲を高め、資質の向上を促すととも に、多彩な能力開発を行うため、自ら学び、キャリアアップを目指そうとする職員に対し、積極的な支援が必要と考えます。

事業番号   00052
--------------

事務事業名	安全衛生事業								
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄				

	<del>丁</del> 勿于未以他	N <del>女</del>																
(1)	事業開始年度	業開始年度不明改正近の改正平成24年度			改正	正 産業医の出務回数を増加。吹田市職員こころの健康づくり計画の策定。復職支援制度の実施。吹田市							朮					
(2)	直近の改正				内容													
(3)	根拠法令等	労働安全衛生法																
		□ 全部	V	一部(_	上乗せ	、横出し等あり) 口 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							5년)					
(4) 市単独事業区分		一部にチェ	ックした	場合はる	その説明									<u> </u>				
(5)	総合計画の体系	章 8	8 基2	<b>本計画</b> 推	進進のだ	っめし	Ξ.					 節		4		細節	0	
		<u> </u>	区:	分	☑ 内部	管理			建設	<del></del> :事業	□ その	 他			<u> </u>			
		対象 (誰を、何を)			節囲													
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	職員	等か	が安全かつ	健康に	こ働く	(こと)	ができ	きるように	する。					
		結果 (どのような効!	単が得られ	(るのか)	職員	等か	が安全かつ	健康に	こ業績	多に行	生事で	することが <sup>.</sup>	でき、業務	効率の向_	上につなれ	がる。		
(7)	争未似安		:衛生法に基づき、産業医による健康相談や、精神疾患で休職した職員の復職支援、メンタルヘルス対策としてのこころの健康相談 セリングを実施。								<b>Y</b>							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	2	項	1		E		16	大事業	1	中事業	1	小事業 1	
		項 目				平成26年 (2014年)							7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)			
							予算(千円)			ž	)算	千円)	予算(	千円)	決算見	込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		(A)		6,0			,061	4,837			5,956		4,528	6,452		
		人件費	職	战員数 人			0.70		0.70	0.70			0.70		0.70	0.	.70	
				頁 (B)	千	.円 5,8		,810				5,847		5,847				
	古光串儿		事業費(				11,871					10,400		11,803		10,375	<u> </u>	
(9)	事業費と 財源の内訳	特定財源(C)					0					0		0		(		0
		<u> </u>		国 ——— 行						0							0	
		訳					0			0		0						
			市負担	(D)			11,871			10,400		11,803			10,375	5 12,171		
		$\hat{\mathcal{A}}$	地	方債					0	0		0		0		0		
		内 訳	そ(	の他					0			0	0		0			0
		<u> </u>		財源					,871			10,400		11,803		10,375	<del> </del>	
			<b>け源計(€</b>	C+D)				11,	,871			10,400		11,803		10,375	12,1	71
		□ 直接	夫他—		T				1	 日本	 产業	 カウンセラ						_
							委託先	<u> </u>	2	<u> </u>	王不							
	<del></del>	☑ 委訊	E又は一	部委託				<u> </u>	3									
(10)	実施方法					主		容」	 庁内	- 庁州	にお	いてのカ	ウンセリング	ブ業務等				
(10)	(該当するもの は全部チェック)								1									
	16 土 叩 / エンソ /	□ 補助	助金∙負担	金			交付先	<u> </u>	2									
									3									
		☑ その他				内容	j	産業医を非常勤職員として採用										

		<u>/]日1示</u>	指標項目	■		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
1 ) エ		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
$\widehat{}$		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位		総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			
の の が 困 指	1	活動内容	の復職支援、メン実施。			精神疾患で休職した職員 相談やカウンセリングを		が特神疾患による職疾患による職疾患による休職者の	
困難な場合	2	成果内容	が必要な職員の		神疾患による休	の予防、メンタルヘルス 、職からの復職支援等に	、	建康悪化を抑制できる た精神疾患での休職者 な復職支援ができてい	<b>皆と所属との連携を</b>
			今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮ィ	<b>j,</b> –	廃止 □ :	<u></u> 終期の設定
(4)総合評価		価	評価の説明	行政業務の高度化要がある。	・複雑化により	       職員の業務による優	康障害を予防する	L <sup>*</sup> く、産業医の執務	回数を増やす必

所属名	人事室				
事務事業番号	00052	事業名	安全衛生事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
тіш.	10万元派	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			①没部方担の観点から兄で、川の闺子のめり方は週切ですか。 	5	 
				ð	点
(1)			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 ************************************		<u> </u>
	妥当性 (20点)	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	\ <b>/III</b> /		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	F	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	ð	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		<u> </u>
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	_	
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性 (20点)	20	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点) 	5	点
	(20無)		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	······	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
	効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
( )			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
	公平性 (20点)		②サービスの水準は適正ですか。		
(4)		0	内部管理		点
(4)			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(E)	持続可 能性 (20点)	16	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
(5)		16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	·	

### 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成24年度に策定した吹田市職員こころの健康づくり計画に基づき、職員の心身の疾病を予防するため、職員が業務に関するカウンセリングを 容易に利用できるよう庁内・庁外でのカウンセリング機会を設け、また復職支援・復職後支援の充実を図るため、産業医の出務回数を増加させ、産業医と心身の疾病を抱える職員の主治医との連携を図ったり、こころの健康相談の実施回数を増加させ、増加するメンタル疾患の復職職員の復職後フォローを行っている。今後、労働安全衛生法に沿うよう産業医を常任する必要がある。また、平成26年度からは、安全衛生推進者及び衛生推進者が安全衛生活動を効果的に行うことができるよう、安全衛生推進者養成講習等の

受講を充実させ、所属の安全衛生活動の推進を図っている。

### 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	こころの健康相談の実施回数を増加	る相談に対応するため、平成27年度にお させている。 を通じ、公務災害等の発生件数の減少を	

4	その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)	
<u> </u>			

事務事業名	職員健康管理事業								
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄				

	3 353 3 514 4 10																
(1)	事業開始年度	不明		改正	兴届	助安全衛生法に	甘べん	'中世	R /2字   c	診断の対	免老の目は	<b>.</b> I					
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	力阻	<b>リ女王用土法に</b>	を ノく	、止舟	刊连对	と記め「リンス」	多 日 の 兄 恒	₹U				
(3)	根拠法令等	地方公務員法	去第4	·2条 労働	動安全衛	<b>新生活</b>	去										
		□ 全部		☑ 一部	(上乗せ	∵、横	出し等あり)			なし	(国•府制	度もしくは	法令等でī	市が実施す	<sup>-</sup> る義務あ	(b)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックし	た場合は	その説		労働安全衛生法しのうち胃検診の実			<b>阴健康</b>	診断と産業[	医等の指示に	こよる各種枝	食診、地方公	務員法第4	2条による福	利厚生
(5)	総合計画の体系	章 8	3	基本計画	推進の	ため	I=				節	4			細節	0	)
			<u>'</u>		区	分	分 ☑ 内部管理 □ 建設事業 □ その他										
<i>(</i> - <i>)</i>	_ ,,,	対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	職員•再任用職	战員•≢	丰常剪	勆職貞	員•臨時雇	用員					
(6)	目 的																
		結果 (どのような効果が得られるのか) 定期健康診断等を実施することにより、職員は健康に業務に従事することができ、業務効率の向上につなっている。										つなが					
(7)	事業概要	定期健康診断り、うがい液剤				重検診	<b>诊を実施し、</b> 職員	等の	健康	管理	を行う。ま	た、各部局	に救急箱	を設置し、「	常備薬のん	入れ替えを	行った
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款		2	項	1	[		16	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(0)	J <del>J                                  </del>	項目						平成20 (2014:			<u> </u>		平成2 (2015	7年度 年度)		平成28 (2016	
				` _	予算(千円			)	決算(千円)		予算(-	千円)	決算見辺	(千円)	予算(-	<del></del>	
		事業費(A			業費(A)		41,3		30,801		44,535		29,941			43,610	
		職員   人件費		職員数	,	٨		1.64			1.64				1.64		1.64
			総額(B)			·円				13,034		13,698			13,698		13,399
	***		費(A+B	3)	54					43,835		58,233				57,009	
(9)	事業費と 財源の内訳		符疋	財源(C)		1			,433		1,348		1,286		0		1,200
		内		国  府				0	0 0		<del>                                     </del>			0		0	
		訳		<u></u> その他			1	,433			1,348				0		1,200
				世(D)				3,529			42,486		1,286 56,947		43,639		55,809
		$\overline{}$		·····································				0			0		0		0		0
		内 訳		その他				0			0		0		0		0
			_	一般財源			53	3,529			42,486		56,947		43,639		55,809
		Į.	<b>才源</b> 計	†(C+D)			54	1,962			43,834		58,233		43,639		57,009
		☑ 直接	実施	į													
								1	(医)	一翠	会						
		☑ 委訊	E又は	:一部委訊	£		委託先	2				日市医師会					
	実施方法			.,, 2,,,,	_	<u> </u>		_			スメック関西						
(10)						<u>É</u>	Eな委託内容		健康	診断	<b>業務、各</b> 種	<b>養養養養養養</b>	<del>等</del> ————————————————————————————————————				
	は全部チェック)	┌┐ ┇	h 🗘 🕹	ᅌᄱᄼ			<del>六</del>	1									
		□ 補助	7 並 • 1	貝担亚			交付先	2									
								3									
		□ その他					内容										

2 評(   	Щ 0 2	指標等	· 指標項[	■		項目		26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
<u> </u>		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
1 )		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
<u> </u>		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指 標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の の が 医性	1	活動 内容	定期健康診断、た	がん検診等を実施し、耳	<b>載員等の健康管</b>	予防、早期発見及び治療				
困難な場合	2	成果 内容	職員が健康に業	務に従事することがで	度からは新たにスト 員の健康維持に努	・レスチェックを実施 がめている				
			今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮!	]\	□ <b>J</b>	—————————————————————————————————————	終期の設定
(4)総1	(4)総合評価		評価の説明	チェックを実施した	。その結果に。 し、業務効率	D改正によりストレスラ よる組織分析について 等の向上に努めるため	〔も平成28	8年度から	実施予定である。	<b>o</b>

所属名	人事室				
事務事業番号	00053	事業名	職員健康管理事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100 100 1111	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	     点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	(1) 妥当性		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	   点
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	   点
			0. 失過 <b>に表現は 7 000 0. (0.M.)</b>		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	   点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		W
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	<u>5</u>	   点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	     点
(2)	有効性 (20点)	16	3事業は目標どおりに進捗していますか。		<i></i>
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	<u></u>
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	<u>.</u>	点
					<u>.</u>
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ト 単位光はリコストは無わ済エズをスが、北美の合地がある、(2.5)		
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(= - <b>/III</b> /		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	<u></u>	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 - 東番毛はの検討や東務改善に取り組む、見せ始な成果を上げている(5-5)	E	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	<b>5</b>	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。   中物等理		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20)11()		③適正な受益者負担を求めていますか。		<u> </u>
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	++ <i>0</i> <del>+</del>		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		_
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00053		
2 各視点	まからの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事務事	事業の現状分析 				
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題  としての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果	‡	持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 <b>有</b> 効性 効率性	
(3)現状分	↑析	がある。	全衛生法によりス	トレスチェック制度の実施が義	に向けて受診を促していく必要 誘務化されることから、職員のメン
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	事項)		

事業番号   00054
--------------

事務事業名	更衣ロッカー配布事業								
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄				

	<del>中加中未以</del>	<i>1.</i> <del>2</del> <u>2</u>																	
(1)	事業開始年度	不明			数正 上	享生用品	占配布	5の廃.	止										
(2)	直近の改正	平成21年度		Į ν	内容 I														
(3)	根拠法令等	地方公務員法	第42条	Ē															
		☑ 全部		一部(」	上乗せ、	横出し	等あり	J)			なし	(国•府'	制度	きもしくは	法令等で	市が実施	する義務あ	) (h)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした場	易合はそ	の説明	1													
(5)	総合計画の体系	章 8	基本	計画推	進のた	めに						節			4		細節	0	
		<u> </u>			区分	<b>}</b>	内剖	『管理			建設	事業		□ その'	他			<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲:	等 職員	⋰再何	任用職	 <sub></sub> 战員										
(6)	目 的	目標(どういう状態に	したいのか	<b>か</b> )	職員の	しの更衣ロッカーを整備し、職場環境を整える。													
		結果 (どのような効果	しが得られ	ろのか)	職員力	が業務に	集中	中できる	る環境	を整	備し	、業務効	ı率 <i>σ</i> .	の維持向。	上につなれ	がる。			
(8)	事業概要 H27事業別 予算コード	本庁舎におい	では女性 1	生職員用	用更衣ロッカー等を整備する。 2 項 1 目 16 大事業 3 中事業						中事業	1	小事業 1						
		:	項目		<u> </u>				平成26			:		<u>:</u>		7年度	-	平成28年度	
						(2014 <del>1</del>			<u> </u>		- h- /		年度) 「	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(2016年度)				
			 事業費(	<b>΄Λ</b> )		-	予算(千円) 150			ž	<b>央算</b> (	(千円)	69	予算(	<u>千円)</u> 150	決算見込(千円) 601		予算(千円) 15	
			職員		一人		0.05			0.05					0.05				
		人件費				9	+		415										
		総:	事業費(,				565						67			<del> </del>			
(9)	事業費と	4	持定財源	(C)					0				0		0		0		
	財源の内訳	内							0					+		0			
		訳	所 その						0				0		0		0		
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						565			46			568		1,019		
		$\overline{}$	地方						0				0		0		0		
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	その	D他					0				0		0		0		
		ì	一般	財源					565			46	57		568		1,019	55	
			<b>∤源計(C</b>	+D)					565			46	57		568		1,019	55	
		□ ☑ 直接	実施						1										
						委	託先	-	2										
	<del></del> 1/	□ 委託	又は一部	邻委託		۸,			3										
(10)	実施方法					主な委	託内	容											
(10)	(該当するもの は全部チェック)								1										
	·・・・・エ HPノ エ ノ ノ /	口 補助	金•負担	金		交	付先	-	2										
									3										
		□ その	□ その他																

事業番号 00054

		指標等	指標項目	1		項目		26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00		0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
2 - 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
成 果 指 標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00			
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の の 3 が に を に に に に に に に に に に に に に	1	活動 内容	本庁内においては 備し、職場環境を		出先機関におい	先機関においては更衣ロッカーを整 必要とされる際に整備を 目標					
困指 難標 なで			職員が業務に集り	中できる環境を整備し、	、業務効率の維	持向上につながる。		必要とされ	る際に整備を行っ <sup>・</sup>	ている。	
場示合す	2	成果 内容					達成 状況				
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小	•	J	<b>廃止</b> □	<u> 終期の設定</u>	
(4)総	合評		評価の説明	職員が業務に集中	できる環境を	維持整備し、業務効率	の向上に	こつなげる	0		

所属名	人事室				
事務事業番号	00054	事業名	更衣ロッカー配布事業	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> 5の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点							
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	 点					
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。							
	50 VI 144		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点					
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。							
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5						
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。							
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点					
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		711					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	 点					
			②事業の目的と受益者が一致していますか。							
	<del></del> ╆┈╬		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点					
(2)	有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。							
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5						
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。							
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	占					
			①単位当たりコストは適正ですか。		7110					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	占					
( < )			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		7110					
	÷L <del></del> h4-		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5 点 3 点 3 点 5 点 5 点 5 点 5 点 5 点 5 点 5 点 5 点 5 点 5						
	効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		711					
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点					
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。							
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	   点					
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		<b>, ,,,</b>					
					 点					
			②サービスの水準は適正ですか。							
	公亚州		内部管理		 点					
(4)	公平性 (20点)	0	<u>③適正な受益者負担を求めていますか。</u>	: !						
			内部管理		点					
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	<u>:</u>						
			内部管理		 点					
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5						
	持続可		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3						
(5)	能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	: !						
	(=0/M)		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点					
			4将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。							
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点					
	 5点合計		← ※自動計算します。	<u>:</u>						
	点満点)	77	← 次日動計算します。 							

所属名	人事室	事務事業番号	00054		
2 各視点	なからの評価の点数で	ば表れない事項(必要に	応じて記載)	·	
3 事務事	業の現状分析				
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 効率性	
(3)現状分	↑析	本庁舎女性更衣室や出先機 がある。	関の更衣ロッカーの	の更新等を行うが、今後一時的	的に更新数が増大する可能性
<b>ፈ</b>	カ(国•存の動向かど	当該事業に関係する特記	事項)		
т ( V) [		一の予本1〜151所りの1寸配	· Ŧ 'Ŗ /		

事業番号	00055
------	-------

事務事業名			職員厚生給付事業							
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄					

	于初于木叶	1女																		
(1)	事業開始年度	不明		改正	贈旨	員厚生事業(	の廃止	上。職	昌健県	· 管理支援 ·	事業の実施	<b>拓</b> _								
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	41-X 5-	マケエテス	V) /56 II	L 0 4190	只 (左 /z		ナ <b>ネッ</b> ス//	<u></u>							
(3)	根拠法令等	吹田市職員(	の厚生制	制度に関	する条	例														
		☑ 全部		一部(	上乗せ	、横	出し等あり	)		□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	<u>—————————</u> D説明														
(5)	総合計画の体系	章	8 基:	本計画:	推進の	ため	IC				節		4		細節	0				
		<u> </u>			区	分	☑ 内部	<del></del> 管理			設事業	ロそ	<del></del> の他			<u>:</u>				
4.5.		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	穿 職員·再任用職員·非常勤職員													
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたいの	か)	福和	川厚 生	厚生制度の運営と人間ドック受診時の助成の事務を職員厚生会に補助金を交付し実施。													
		結果 (どのような効!	果が得られ	れるのか		川厚生や人間ドックを受けやすくすることにより、職員の健康増進、疾病の予防や早期発見につながり、業 効率の維持向上につながる。														
(7)	事業概要 	보 무대																		
(8)	予算コード	会計	1	款	í	2	項	1		目	16	大事業	3	中事業	2	小事業 1				
			項	目					成26 014年					27年度 5年度)		平成28年度 (2016年度)				
							予算(千円)			決	算(千円)	予算	〔千円〕	決算見	,込(千円)	予算(千円)				
			₹(A)	•				273		6,64	5	14,958	3	3,500	15,030					
		人件費	職員数 人件費					人	0.05		0.0	5	0.05		0.05	0.05				
				額(B)					415		39			418 418						
	古光串上		事業費		)	15,6					7,04		· ·		3,918					
(9)	事業費と 財源の内訳	_	特定財法	源(C) 国 国					0			0			(	0 0				
		内		<u> </u>		0			0			0								
		訳 <u></u>		<u>…</u> の他								0			(					
		l	市負担	<u>d</u> (D)				15,6	688		7,04	2			3,918	15,439				
			地	方債					0			0	(	)	C	0				
		内 訳 	そ	の他					0			0	(	)	C	0				
		<u> </u>		<b>投財源</b>					688		7,04		15,376	+	3,918					
			財源計(	C+D)				15,6	688		7,04	2	15,376		3,918	15,439				
		□直接	英美.他						1											
							委託先	_	2											
	<del></del>	□ 委託	モ又は一	·部委託			24,200	_	3											
(10)	実施方法					Ė	 とな委託内?	容												
(10)	(該当するもの は全部チェック)							(	1 1	欠田市	職員厚生会	<u> </u>								
	1のエロリエノノ/	☑ 補助	カ金∙負扌	<b>坦金</b>			交付先	<b>-</b>	2											
								(	3											
		□ その他					内容													

事業番号 00055

		指標等	指標項目			項目	平成26 <sup>4</sup> (2014年		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
_		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	目標値 (単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位∶)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指 標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00 0.00		
の の 3 が 困指	1	活動 内容		び職員等の人間ドック等 成する健康管理支援事		る目己負担分のつち最	L	た際に国		「人間ドック等を受診 大5千円まで助成す 「る。
難な場合	2	成果 内容		よるリフレッシュや人間ド ちや早期発見につながり		易性により、職員の健康 維持向上につながる。	, <sub>± +</sub>	福利厚生制度及び、職員等 した際に自己負担のうち最に 健康管理支援事業を実施し		5千円まで助成する
	•	4		□ 拡充	☑ 継続	□縮小			<b>秦止</b> □	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明			     心身の疲労軽減に効   き事業を継続していく		業務効	■ 率の維持向上を期	明待することがで

所属名	人事室				
事務事業番号	00055	事業名	給付事業	事業区分	内部管理

評価	5の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	(20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	16			
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3)	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20点)	16			
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	   点
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0			
			内部管理		
			<ul><li>④公平性を確保するための取組みをしていますか。</li></ul>		
			内部管理		点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
	(=0 /III/		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	 点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価	5点合計	77	← ※自動計算します。		

所属名	人事室	事務事業番号 0	0055		
2 各視点	たからの評価の点数で	だは表れない事項(必要に)			
3 事務事	事業の現状分析				
(1)本事業	<b>め位置付け</b>	主要な政策課題 しての取組	□ 音	『として重点的な取組 	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果	持	F続可能性 公平性	妥当性 20 15 10 5 0 効率性	
(3)現状分	↑析	平成26年度からは、個人給付 を削減している。	の廃止と、カフェテロ	Jアプランに係る一人当たり?	公費負担額の縮減により予算
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	事項)		

尹未留万   00000	事業番号	00056
--------------	------	-------

事務事業名			職員会館等維持管理事業		
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

	争務争耒の修	X <del>安</del>																		
(1)	事業開始年度	昭和48年度	Ę			<b></b>	<i>+</i> ~1													
(2)	直近の改正	なし				内容	なし	•												
(3)	根拠法令等	地方公務員	法第4	41条	、第42	:条														
		☑ 全部			一部(」	上乗せ	乗せ、横出し等あり)				□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分	一部にチョ	ェックし	した場		一の説	明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本	計画推	進のが	ために	IC.					節			4	細節		0	)
		<u> </u>				区	分	☑ 内部管理				 □ 建語	<b>设事業</b>		□ そのf	 也			<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)	)			節 節 囲	事等	職員会館	1 											
(6)	目 的	     目標				TT-4.			5 TO 4		TT-4		·	L 7	. ~ <del>.</del> ~					
		(どういう状態	にした	いのカ	))	職員	職員会館の維持管理を行い、職員が利用できるようにする。 													
		結果 (どのような効	果が得	导られる	るのか)	職員	会创	官の利用は	は職員	の福	利	厚生に	役立ち	、業	務効率の向	〕上につた	<b>ぶがる</b> 。			
(7)	事業概要 H27事業別	吹田市職員	厚生:		し、I	Г	の維持 	管理	を				T				T :			
(8)	予算コード	会計	-	1	款	2	2	項	1	I		目	16	6	大事業	3	中事業	3	小事業	1
			IJ	頁 目	<b>∄</b>					平成2 (2014							7年度 (年度)		平成28 (2016:	
								予算(千		)		決算	(千円)		予算(-	千円)	決算見	込(千円)	予算(	千円)
			事業費(A)							,377			9,698			11,162		12,124	4	15,296
		人件費 人件費	件費 ├──		<b>員数</b>					0.05			0.05			0.05			+	0.05
			総額 (B)				円			415			398					418		409
	事業費と	<b>*</b>			A+B)					,792				,096	+				+	
(9)	財源の内訳		特化	財源国				1,478									<u> </u>		-,	
		<b>内</b>					0				0									0
		訳 <u></u>		その					1	,478				75		1,569		(	0	1,964
		!	市負	負担(	D)				10	),314			10,	,021	+			12,542	2	13,741
				地方	ī債					0				0		0		(	0	0
		内		その						0				0		0			0	0
				一般!						),314				,021		10,011		12,542		13,741
		□直			+D)				11	,792			10,	,096		11,580		12,542	2	15,705
			女大川	<u> </u>						1										
			·	. 4.	T			委託先	-	2										
	中华士士	□ 季	<b>社又</b> は	ま一哥	『委託				•	3										
(10)	実施方法						È	な委託内	容											
(10)	(該当するもの は全部チェック)										吹	て田市職	貴厚生	生会						
		☑補ឭ	助金•	負担:	金			交付先	-	2										
		□ そ(	 の他					 内容		3										
Ī	I I	Ī								i										

事業番号 00056

			指標項目	<b>=</b>		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
$\widehat{}$		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
1 ) ;		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
2		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
$\smile$		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
( の 3 ) ( 困 が 困 指	1	活動 内容	職員会館の維持   	管理のため職員厚生会	会へ補助金を父	付する。		の利用は職員の福利 につながる。	引厚生に役立ち、業
困難な場合	2	成果 内容	職員会館の維持	管理を行い、職員等が	利用できるよう	こする。		の利用は職員の福利 につながる。	河厚生に役立ち、業
			ティスタッグ (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮!	,	<b>廃止</b> □	——— 終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	老朽化した施設でる施設のあり方を検討		       記断(2次診断)及び	 耐震補強計画の策	定を実施し、その	結果をふまえ、

所属名	人事室				
事務事業番号	00056	事業名	職員会館維持管理事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
1112	100 100 1111	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	     点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	•	
	—: .i.e lei		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	     点
(1)	妥当性 (20点)	10	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	   点
			0. 失 <b>旭忠義は 7 0.0 0. (0.</b>	<u> </u>	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	     点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		W
			・	3	     点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			と 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	   点
(2)	有効性 (20点)	10	3事業は目標どおりに進捗していますか。	3	
				3	
			b. 日標を下回る進歩れ流である。(3点) 	J	点
			4)   氏に説明できる共体的な放果をエリていますが。 	4	
				<u> </u>	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光は1000000000000000000000000000000000000	-4	
			c. 単位当たりコストは高く、見直す必要がある。(1点)	<b>I</b>	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	10	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(= - <b>/III</b> /		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 - 他の事業・取組との連携は検討していない。(4.5)	4	
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	I	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 	0	 
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 		<u> </u>
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。   <del></del>		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		点
	(20/1117)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			内部管理   ② ひ		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理 		点 
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	 :	_
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	14 A+ <del></del>		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	, :	
(5)	持続可 能性	8	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	 :	
			c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1	点
	i点合計 点満点)	47	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 人事室		事務事業番号	00056				
2 各視点からの評価	<b>あの点数では表</b> ∤	れない事項(必要に	に応じて記	載)			
3 事務事業の現状分	<del>}析</del>					1	1
(1)本事業の位置付け		主要な政策課題 としての取組		□ 部	として重点的な取組	✓	その他
(2)各視点からの評価紹	吉果	妥当性       15       10       5       0       分率性					
(3)現状分析	職員が 費は増 要となる	福利厚生のため職員 大していくと予想され る。	員会館を利用 1、また、耐富	月することに 寝診断もされ	ニー定の意義がある。しかし れておらず、経常的な維持管	老朽化によき理費に加	くり 今後の維持管理 えてその費用も必
4 その他(国・府の重	か向など、当該事	業に関係する特証	記事項)				

事業番号	00057
<b>尹</b> 本田 つ	00007

事務事業名	職員の公務災害事業						
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄		

	于初于未UVW	N <del>文</del>															
(1)	事業開始年度	不明			改正	市立	·吹田市民s	声陰の猫	立行	- 政法 )	し化に伴う	条文改正等	<u> </u>				
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	1117.77		NA 19L V 711	<u>,</u>	以丛)		· 未入以正 引	-				
(3)	根拠法令等	吹田市職員么	公務災	害等見舞	#金支給	<b>洽規則</b>	]										
		☑ 全部	1	□ 一部(	(上乗せ	、横占	出し等あり)	)		なし	(国•府制	度もしくはえ	ま令等で	市が実施すん	る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はその				明											
(5)	総合計画の体系	章 8	3 基	基本計画:	推進の	ために	Ξ				節		4	糸	田節	0	
			•		区	区分 ② 内部管理		管理		建設	 事業	□ その他	<u>b</u>				
		対象 (誰を、何を)			範囲												
(6)	目 的	目標 (どういう状態にしたいのか)															
		結果 (どのような効果が得られるのか) 職員等				等が	「安心して第	業務に従	事す	ることが	ができる。						
(7)	H27事業別	職員等が公務	务中又 ——	.は通勤途	1		連い、死亡	:又は一: 	T	Ē		T :		Γ	金を支糸 		
(8)	予算コード	会計	ı	- 秋	4	2	垻	<u> </u>		<u>目</u>	16	大事業	4	中事業		小事業	<u> </u>
		項目						平成: (201						7年度 年度)		平成28 (2016年	
							予算( <del>-</del>	千円)		決算(	千円)	予算(=	<b>斤円</b> )	決算見込	(千円)	予算(千	一円)
		事業費(A)					400				0		400		0		400
		│ │ │ 人件費 ├	<b>I</b>	職員数			0.32		2		0.00				0.00		
				论額(B)		·円		2,656			0	2,673				_,,,,,	
	市业出し			費(A+B)	)			3,056			0	•				,	
(9)	事業費と 財源の内訳		特疋斯	才源(C) 			0			0				0			
		<b>内</b>		国  府			0					0					
		訳		<u></u> その他						0			0		0		0
				担(D)				3,056	3			3,073	3 0			3,015	
		$\widehat{}$	ţ	地方債				(			0		0		0		0
		内 訳	ز	その他				(	)		0		0		0		0
		· ·	_	般財源				3,056	6		0		3,073		0		3,015
		貝	才源計	(C+D)				3,056	6		0		3,073		0		3,015
		☑ 直接	実施			1			ı								
		□ 委託	□ 委託又は一部委託				委託先     ②       3										
	実施方法					主	 な委託内容										
(10)	(該ヨ9るもの							1									
	は全部チェック)	□ 補助	□ 補助金・負担金				交付先	2									
							3										
		□ その他					内容										

事業番号 00057

			指標項	∃		項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位	:千円)	0.00	0.00		
1 ) ;;		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位	:千円)	0.00	0.00		
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の装質			単位当た	総事業費(単位	:千円)	0.00	0.00		
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位	:千円)	0.00	0.00		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
( 0		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位	:千円)	0.00	0.00		
2 () 成		方法			りコスト	一般財源(単位	:千円)	0.00	0.00		
成 果 指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	りコスト 一般財源(単位:千円)		0.00	0.00 0.00		
		方法						0.00			
へ の3 が 困	1	活動 内容		又は通勤途上で災害に 等又はその遺族に見舞st			た況に	目標	客があれば見舞金を <b>3</b>	を給する。	
困難な場合	2	成果 内容	職員等が安心し	て業務に従事することが	できる。			該当事第 達成 状況			
	<u> </u>	4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē 🗆	縮小		廃止	終期の設定	
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	公務災害等は発生しよう、また、職員等が員が一定の心理的で直しが必要と考えて	ヾ死亡した場 安心感をもっ	合には遺族が当	当面の生	活に困窮しない	よう、見舞金を支約	合するもので、職	

所属名	人事室				
事務事業番号	00057	事業名	職員の公務災害事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性	10	c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
(1)	(20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	•••••	
(0)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			c. 単位当たりコストは高く、見直す必要がある。(1点)	1	点
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	10			
			c. 他の事業·取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	 点
			内部管理		点
	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0			
			内部管理		 点
			内部管理		 点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	 点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
	(ZU <i>訊)</i>		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			4)将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価	 「点合計	67			

所属名	人事室	事務事業番号	00057						
2 各視点	まからの評価の点数で	だは表れない事項(必要に	応じて記載)						
3 事務事	事業の現状分析								
	の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組	□ 部。	として重点的な取組	☑ その他				
(2)各視点	からの評価結果			妥当性 20 15 10 5 有効性 効率性					
(3)現状分	3)現状分析 見舞金の額として、他市と比較するとやや高い。								
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)									

事務事業名			特別職報酬等審議会事業		
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄

	于初于木叶	ル <del>女</del>															
(1)	事業開始年度	昭和41年原	芰		改正	市員	民病院の独	立行政	法人化	に伴	う改正						
(2)	直近の改正	平成26年原	芰		内容												
(3)	根拠法令等	執行機関 <i>の</i>	附属機	関に関す	トる条例	小、吹	田市特別職	<b>能報酬等</b>	審議	会規	則						
		☑ 全部		□ 一部	(上乗せ	と、横	出し等あり	)		なし	ノ(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	ける義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチ	ェックし	た場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章	8 ½	基本計画	推進の	ため	1				節		3		細節	0	
		-			×	经分	☑ 内部	管理		建	没事業	□ その1	也			<u>:</u>	
(0)		対象 (誰を、何を	•)		範	囲等					管理者、常対する期末			と 対育長に対 ほか5項		の額に関する事項	
(6)	目 的	目標 (どういう状態	にしたい	へのか)	特別	引職(	の報酬等の	あり方々	や適正	な水	準を答申す	ること。					
		結果 (どのようなタ	カ果が得過	られるのか	、 、 特別	別職(	の報酬等の	あり方~	ゆ適正	な水	準の確保。						
(7)		学識経験者間に対して	f、市内の 答申を行	の事業者 行 <b>う</b> 。	及び市	ī内 <i>の</i>	)公共的団(	体等の作	大表者	より	を嘱されたる	委員が、特別	川職の報	洲等のあり	方や適正	な水準等に係る諮	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款		2	項	1		目	1	大事業	21	中事業	1	小事業 1	
			項	目					戈26年 14年度							平成28年度 (2016年度)	
							予算(千円)			決算	(千円)	予算(-	千円)	決算見違	込(千円)	予算(千円)	
				費(A)				1,02			0					C	
		人件費	-	職員数 		人		0.2	_		0.00		平成27年度 平成28年度 (2015年度) (2016年度)				
				総額(B) ──── 費(A+B		-円	1,66									(	
(0)	事業費と	1		및 (A T D 才源(C)	)		2,682				0						
(9)	財源の内訳		11727	国					0		0		0		0	C	
		内 訳		府					0		0		0		0	(	
		<u> </u>		その他					0		0		0		0	•	
		l —		担(D) 地士/毒				2,68	_		0		2,559		0		
		内 内 訳		地方債  その他					0		0		0		0		
		訳   		- 般財源				2,68	_		0		2,559		0		
				(C+D)				2,68			0		2,559		0	(	
		☑直	接実施									•					
								(1	_								
	実施方法 (10) (該当するもの は全部チェック)	□ 委	託又は	一部委訊	<u> </u>		委託先	2									
							3		3) I								
(10)						_	ナか季託内:	宓									
						<u> </u>	主な委託内容										
		□ 補	助金•貨	 負担金		<u> </u>	主な委託内! 交付先	容 〔1 ②									
		□ 補	助金·貨	担金		=		(1									

<b>∠</b> n⊤	<u> </u>	/ ] 日 (  示	```	指標項目			項目	I		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
						目標値		(単位:)		0.00	0.0	0.00
		指標 内容				実績値		(単位:)		0.00	0.0	0 /
	1						達成度	(%)		0.0	0.	0
		目標信				単位当た	総事業	費(単位:千円)		0.00	0.0	0 /
1 ) ;T		の積分 方法				りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.0	0
活動指標						目標値		(単位:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容				実績値		(単位:)		0.00	0.0	0 /
	2						達成度	E(%)		0.0	0.	0 /
		目標				単位当た	総事業	費(単位:千円)		0.00	0.0	0 /
		の積分 方法				りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.0	0
						目標値		(単位:)		0.00	0.0	0.00
		指標 内容				実績値		(単位:)		0.00	0.0	0
	1						達成度	[(%)		0.0	0.	0
( )		目標の積				単位当た	総事業	費(単位:千円)		0.00	0.0	0
2 ) 成		方法				りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.0	0
成 果 指 標						目標値		(単位:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容				実績値		(単位:)		0.00	0.0	0
	2						達成度	E(%)		0.0	0.	0
		目標(の積)				単位当た	総事業	費(単位:千円)		0.00	0.0	0
		方法	<u>+</u>			りコスト		原(単位:千円)		0.00	0.0	
の の が 困 お	1	活動	<b>表</b>		Rの事業者及び市内の公 D報酬等のあり方や適正				目標			テうことにより、特別職 水準等を確保するこ
困難な場合	2	成果 内容	Į.	<b>特別職の報酬等</b> の	のあり方や適正な水準等	計に係る諮問に	こ対する答	「申を行うこと。	達成 状況	職の報酬		5年4月に掛けて特別 な水準等について審
				後の方向性 実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□縮小			<b>廃止</b> □	終期の設定
(4)総	合評	価	評	平価の説明	特別職の報酬等のあす。今後も必要に応じ						の答申を受けて	内部で検討しま

所属名	人事室				
事務事業番号	00058	事業名	特別職報酬等審議会事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	•••••••••••	
(4)	妥当性	4.0	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i	
(0)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	. <del>i</del>	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
				2	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
				<u>.i</u>	
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20		<u>.i</u>	
			他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u>:</u>	
					点
				.i	
	公平性				点
(4)	(20点)	0			
					点
			<ul><li>④公平性を確保するための取組みをしていますか。</li></ul>	. <del>i</del>	
			内部管理		·····点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
				<u>:</u>	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。	. <b>i</b>	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号 00	0058			
2 各視点	ないらの評価の点数で	がは表れない事項(必要に応	なじて記載)			
3 事務事	事業の現状分析					
	の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組		部として重点的な取組	V	その他
(2)各視点	からの評価結果	持	·続可能性 公平性	妥当性 20 10 5 0 効率性	有効性	
(3)現状分	↑析	平成26年度、27年度は開催し に係る諮問に対して審議してし	なかったが、今 いただき、その名	後も必要に応じて、特別耶 答申を受けて内部検討して	戦の報酬等の在! こいく必要があり	り方や適正な水準等 ます。
4 その州	カ(国・府の動向など	当該事業に関係する特記事	<b>事項</b> )			
	フィー 111 47 型11-11-00 C (		J X/			

事務事業名			行政管理事業		
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄

	争務争系の機	<b>双安</b>																
(1)	事業開始年度	不明		ī	改正													
(2)	直近の改正	なし			内容	_												
(3)	根拠法令等	事務分掌条例	削、職員	定数条例	列、行政	<b>女手</b> 約	続条例他											
		☑ 全部		] 一部(_	上乗せ	、横	出し等あり	I)		□ 7	なし	(国∙府制	制度もしくに	は法令等で	市が実施	する義務あ	5Y)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした	<del>-</del> 場合はそ	その説明	明												
(5)	総合計画の体系	章 8	基	本計画推	進のな	こめに	Ξ					節		4		細節	0	
		<u> </u>			区分	分	☑ 内部	管理			建設	 事業	□ その	 )他				
		対象 (誰を、何を)			節囲	事	 行政組織								1			
(6)	目 的	 目標			矛帥	で料	<u> </u>	证什么日名		 宏 <del>古</del>								
		(どういう状態に	こしたいの	<b>りか</b> )	***	( C 1)3	<u>ғ</u> нгил,Ф.1.1	以小口小	敗 0 7 11	# <del>7</del>								
		結果 (どのような効果	い得ら	れるのか)	柔軟	で機	能的な行	政組約	哉がる	雀立で	きる	1						
(7)	事業概要 H27事業別	行う。 	き理とし		管理、;	定数		郭団体	<b>、</b> の見			官管理者	T	1	1	行政手続	T :	事務を
(8)	⊓2/∌未別 予算コード	会計	1	款	2	) -	項	1		目		1	大事業	10	中事業	1	小事業	1
			項	目		行政手続条例他  世、横田し等あり) □ なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)  説明  のために 節 4 細節 0  区分 ② 内部管理 □ 建設事業 □ その他  応囲等 行政組織  軽軟で機能的な行政組織が確立できる  里、定数管理、外郭団体の見直し、指定管理者制度、権限移譲、事務改善及び行政手続条例関連の事  2 項 1 目 1 大事業 10 中事業 1 小事業  平成26年度 (2014年度) 平成27年度 (2016年7)												
						•	予算(	千円)	,	決	:算(	千円)	予算	(千円)	決算見	込(千円)	予算(-	千円)
		1													+			73
		事業費(A)     131       職員数     人       人件費				+		+		+	2.00							
		<i>\$</i> /\>		額(B)	+1	円				29,817					+			
	事業費と			(A+B) 源(C)				31									16,413	
(9)	財源の内訳			<u>加入</u> 国					-								1	0
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::		 府					0					C	)	(		0
		) )	そ	の他					0			(	ס	C		(	)	0
			市負担					31	,256			29,816	6	31,450		31,416	6	16,413
		<b> </b>		也方債													1	0
		訳		の他				0.1	_						+			10.410
				般財源  (C+D)										の他  「現移譲、事務改善及び行政手続条例関連の事務を では27年度 (2015年度) (2016年度) 「(千円) 決算見込(千円) 予算(千円) 130 96 (2016年度) 第(千円) 決算見込(千円) 予算(千円) 130 96 (2016年度) 3.75 3.75 2.0 31,320 31,320 16,34 31,450 31,416 16,4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				
								01,	,200			20,010	<u> </u>	01,100	<u> </u>	01,110	<u> </u>	
	実施方法			一部委託				灾	2									
(10)	(該ヨ9句もの)						- 'ひ女叩门'	T	<u>(1)</u>									
<sup>(10)</sup> (該当するもの	は全部チェック)	□ 補助	金•負:	担金			交付先											
				-					-									
		□ その	他				内容											

2 評( 	Щ 0,2	指標等	指標項目	======================================		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値		(単位:)		0.00	0.0	0.00
		指標 内容			実績値	(	(単位:)		0.00	0.0	00
	1					達成度	(%)		0.0	0	.0
		目標値			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.0	00
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財派	原(単位:千円)		0.00	0.0	00
活動指標					目標値		(単位:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.0	00
	2					達成度	(%)		0.0	0	.0
		目標値			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.0	00
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.0	00
			正規職員数(普通	通会計)	目標値	<u>i</u> )	単位:人)		2,184.00	2,198.0	2,254.00
		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:人)		2,103.00	2,169.0	00
	1				達成度(%)		(%)		96.3	98	.7
<u> </u>		目標値	平成25年度から 間とした職員体制	平成29年度までを計画期  計画(案)の各年度職員数	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		14.18	14.4	18
2		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		14.18	14.4	18
成果指標			正規職員及び再	任用職員数(全会計)	目標値	<u>(</u> )	単位:人)		2,620.00	2,623.0	2,664.00
標		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:人)		2,492.00	2,546.0	00
	2	內谷				達成度	(%)	95.1 11.97		97	.1
		目標値	標値 間とした職員体	平成29年度までを計画期  計画(案)の各年度職員数	単位当た	総事業費	貴(単位:千円)			12.3	34
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			11.97	12.3	34
(3) が困	1	活動 内容		として、組織管理、定数管理 事務改善及び行政手続条 <sup>。</sup>				目標	柔軟で機能	能的な行政組織 <i>0</i>	)確立
難な場合	2	成果 内容						達成 状況			
	•		└────────────────────────────────────	□拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	<b>\</b>	<i>J</i>	<b>秦止</b> [	□終期の設定
(4)総1	4)総合評価		評価の説明	平成25年度からの吹 簡素で、市民にわかり 改正に取り組んだ。今後 また、平成28年度かり 制度等に係る業務を企 は、行財政改革推進事	)やすく、 後、引き続 ら、定数管 画財政室	社会情勢 き、組織 管理や事 所管とし	に柔軟に対応 のあり方につ 務改善に係る て取り組んで	できる機 いて検証 業務を人	能的な組 を行う必 事室の所	織とするため、 要がある。 管として、組織	平成27年度に組織 管理や指定管理者

所属名	人事室				
事務事業番号	01045	事業名	行政管理事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性	40	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性	10	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(0)	効率性	10	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
<b>(5)</b>	持続可	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	01045											
2 各視点	2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)													

#### 3 事務事業の現状分析

3 争扬争未以犹然为彻 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 <sup>図</sup> としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 10 5 有効性 公平性	
(3)現状分析	事業実施の妥当性はある。また、担じ内部管理事務であるため、現在の方づく職員定数の管理や指定管理者制の効果はあると考える。今後も計画のては、事業予算としては旅費や消耗はという面では、現在の行政改革のメニ考えるが、今後も引き続き事務の改善	向け、平成27年度に組織改正を行ったこれ手については、組織管理、定数管理等法が妥当と考える。有効性については、「度導入に対する取組み、権限移譲に関う達成や指針に基づいた行政改革に取組品程度しかなく、費用という視点からの評して対する職員数は最小限であると記事に取組み効率性を高めていきたい。持知の組みが必要である以上は継続が必要の	を通じた行政改革を実施する 吹田市職員体制計画(案)に基 する全庁的な取り纏め等、一定 乱んでいきたい。効率性につい 価はとても難しい。担当職員数 認識しており、効率性は高いと 続可能性については、行政改

#### 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成28年度から、定数管理や事務改善に係る業務を人事室の所管として、組織管理や指定管理者制度等に係る業務を企画財政室所管として 取り組んでいく。これにより、企画財政室所管分の業務については、行財政改革推進事業に移行するものである。

事業番号	01277
------	-------

事務事業名	吹田市人事給与制度改革研究会事業										
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄						

	<del>中加中未</del> V/W	<i>14</i>															
(1)	事業開始年度	平成17年度		改正													
(2)	直近の改正	平成27年度		内容	小坦 <b>部切</b> 組制	以止门门	以正										
(3)	根拠法令等	吹田市人事給	i与制度改革i	研究会認	设置要領												
		☑ 全部	□一部	(上乗せ	、横出し等あり	)	□ <i>t</i>	にし(国・府制	度もしくは	法令等でで		義務あり	·J)				
(4)	市単独事業区分		ノクした場合に	はその説	· 説明												
(5)	総合計画の体系	章 8	基本計画	i推進の	<b>進のために</b>			節		3	細節		0				
				区	分 ☑ 内部	管理		建設事業	□ その <sup>6</sup>	他		<u> </u>					
		対象 (誰を、何を)	(誰な 何な)														
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいのか)	 方分権時代にふさわしい、新しい地方自治を担う情熱と意欲を持った職員を育成するため、本市における人 給与制度のあり方を研究すること。													
		結果 (どのような効果	が得これるのも														
(7)	事業概要 	前及設計の夫他。															
(8)	予算コード	会計	款	ζ	項		目		大事業		中事業	$\longrightarrow$	小事業				
			項目			平成2 (2014	6年度 年度)			平成2 (2015			平成28年度 (2016年度)				
					予算(	千円)	——— 決	算(千円)	予算(千円) 決算見込(千円)			千円)	予算(千円)				
			事業費(A)			0		0		0	0		0				
		│ │ 人件費 ├	職員数		٧	0.00		0.00	0.00		0.00		0.00				
			総額(B)		·円	0		0	0		0		0				
	事業費と		事業費(A+E 	3)			0	+			0						
(9)	財源の内訳	1	寺定財源(C) ———— 国			0		0	<del> </del>			0					
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::				0		0		0		0	0				
		- ボー - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その他			0		0				0	0				
			市負担(D)			0		0	0			0	0				
		内	地方債			0		0	0		0 0		0				
		訳	その他			0		0		0		0	0				
		<u> </u>	一般財源 			0		0		0		0	0				
		☑ 直接	·源計(C+D) 宇施	1		0		0		0		0	0				
						1											
		_ <del> </del>		-	委託先	2											
	中华士计	□ 委託	又は一部委託	t		3											
(10)	実施方法				主な委託内	容											
(10)	(該当するもの は全部チェック)					1											
		□補助	金•負担金	交付先 ②													
						3											
		□ その	他		内容												

		)指標等	指標項目			項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
(		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
2		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
の の が 医 世	1	活動内容	副市長を座長とし すること。	た研究会を開き、本市に	おける人事約	合与制度のあり方を研究	を得れる人		、市民の理解と支持 見及び職員の意識改
困難な場合	2	成果内容	市民の理解と支持を設定を設定しません。	持を得ることができる人事 達成。	<b>経与制度の</b>	実現及び職員の意識改	│ 、 <sub>★ は</sub>  及び職員(	解と支持を得れる人事給与制度の実現 の意識改革と能力開発を達成するた に応じ研究会を開催し制度を改善	
	1	4	<u></u> う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	<b>₩</b> 続	□縮小		<b>廃止</b> □ :	 終期の設定
(4)総	(4)総合評価		(美施計画)			、必要に応じて改善策を			

所属名 人	事室				
事務事業番号 012	277 事業	名。	欠田市人事給与制度改革研究会事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
тіш 	107]兀灬		①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
				E	
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 ************************************		<u> </u>
(1)	妥当性 (20点)	18	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(==71117		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	•	<u> </u>
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点) 	5	点
	(20無)		③事業は目標どおりに進捗していますか。		_
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点) 	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。 	:	
(3)	効率性 (20よ)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20点)		③他の事業·取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	 E	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	: :	
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	0	内部管理		点
( )	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	·····	
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	······	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(3)	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	01277		
2 各視点	いらの評価の点数で	がは表れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事務事	<b>事業の現状分析</b>				
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題  しとしての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果	‡	持続可能性公平性	妥当性 20 10 5 0 对率性	
(3)現状分	`析	及び職員の意識改革と能力関	開発を達成するこ	、市民の理解と支持を得ること とを目的としております。	とができる人事給与制度の実現力等の検討を進めました。
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	事項)		

事務事業名	人事・給与システム開発運用事業											
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄							

	于加于木VM	<del>X 女</del>																
(1)	事業開始年度	平成27年度	改正	なし														
(2)	直近の改正	なし			内容	なし	•											
(3)	根拠法令等	なし																
		☑ 全部		一部(	上乗せ	、横	出し等あり	J)			なし	(国∙府制	削度もしくは	法令等で	市が実施	する義務な	5Y)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はその説																
(5)	総合計画の体系	章	8 基本	本計画排	進進の?	ため	IC					節		4		細節		0
		<u>=</u>	l		区	分	☑ 内部	管理			建設	事業	□ その	他			_	
		対象 (誰を、何を)			範囲	囲等	日等 正職員、及び再任用職員											
(6)	目 的	目標 (どういう状態に						レステムの導入により、給与計算及び税関係事務の効率的・安定的な運用が継続して可能となり、また人事 型においても新システム導入により、運用リスクを大幅に減少できる。										
		結果 (どのような効!	果が得られ	<b>いるのか</b> )														
(7)	事業概要 	車業別																
(8)	予算コード	会計 ————	1	款		2	項	1				1	大事業	22	中事業	1	小事業	1
						□成2 2014						:7年度 i年度)			28年度 6年度)			
				予算(	千円)	)	ž	夬算(	千円)	予算(	千円)	決算見	込(千円)	予算	(千円)			
		事業費(A)					0			0			)	25,899				77,107
		人件費		員数 ———	人		0.00					0.00		0.00		1.00		
		hn		頁(B)			0		0				0		3,173			
	事業費と		事業費( 特定財派				0						· -		·			85,277
(9)	財源の内訳			ァ(し) <u></u> 国			0			0						0		0
		内 		<u></u> 府			0			0						0		0
		訳 <u></u>		 の他					0	0				0		(		0
			市負担	(D)					0		0		)	25,899		23,760	)	85,277
		<u></u>	地	方債					0			0	0			(		0
		訳		の他					0			0		0			)	0
		<u> </u>		財源					0			0		25,899	-	23,760		85,277
		□直接	<b>財源計(€</b> 	(+D)					0			0	)	25,899		23,760	)	85,277
			<del>天</del> 心						1	富十	 诵株	 式会社関	 西支計					
			~ <b>_</b>	±=			委託先	-	2									
	<b>5</b>	☑ 委託	E又は一·	部委託				Ī	3									
(10)	実施方法					È	な委託内	容:	シスー	テム	開発							
(10)	(該当するもの は全部チェック)							_	1									
		□ 補助金・負担金					交付先		2									
									3									
		□ その他					内容											

指標項目						項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1)活動指標	1				目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00		
						達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00			
					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		の傾昇   方法 	-		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	,	
	1				目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00		
						達成度	達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)	0.00		0.00		
2 		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)	0.00		0.00		
成果指標					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(	(%)		0.0	0.0		
		  目標値  の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00			
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	<u>/</u>		
のが困難な場合は非で示す	,一句内容					7 委託契約を締結し、開発を進め			給与システムを統合し、効率的な運用を行える人事給与システムを構築する。 目標			
	2	成果内容	要件定義工程か	ら、設計工程までを完了	<b>てした。</b>			達成 状況	概ねスケ	ジュール通りに開発	が進んでいる。	
			(美施計画)			□ 継続 □ 縮小					終期の設定	
(4)総合評価		価	評価の説明	保守期限等が迫っため・安定的な運用が								

所属名	人事室				
事務事業番号	01396	事業名	人事・給与システム開発運用事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点						
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。						
	妥当性 (20点)		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点				
(1)			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	•••••••••••					
		10	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点				
		18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点				
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	·i					
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点				
	有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点				
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i					
(0)			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点				
(2)			③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点				
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。						
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点				
	効率性 (20点)		①単位当たりコストは適正ですか。	<u>.</u>					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点				
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	-i					
<i>(</i> <b>-</b> <i>)</i>			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点				
(3)		20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	-i					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点				
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。						
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点				
	公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	-					
			内部管理		点				
			②サービスの水準は適正ですか。	·i					
( • )			内部管理		点				
(4)			③適正な受益者負担を求めていますか。	·i					
			内部管理		点				
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。						
			内部管理		·····点				
	持続可 能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。						
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点				
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	.i					
<i>,</i> _ <i>,</i>			b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点				
(5)			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	. <b>i</b>					
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点				
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·i					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点				
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))						

所属名 人事室	事務事業番号 01396						
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて詞	記載)					
3 事務事業の現状分析							
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他				
(2)各視点からの評価結果	子統可能性 方統可能性 力 力 力 力 力 力 力 力 力 力 力 力 力						
(3)現状分析	現状では人事システムと給与計算を別個に運用していること等から、システム間でのデータ入力の重複や連携の不足、また紙ベースの申請データを入力する作業が生じるなど、非効率な運用状態にあった。各種申請の発生源での入力も含めたシステムの導入は効率化をすすめるために必要な事業と考えている。なお、人事システムの保守終了、給与計算をしていたホストの運用廃止を控えていたことからも、システム更新自体は必須の事業と考えている。						
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)							